

■地域環境の保護

当行の営業基盤である宮城県を保護するため、私たち地域金融機関にも資源循環型社会への転換の一翼を担い地域と共生していくことが求められており、当行でもさまざまな取組みを行っています。大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙利用、処分文書のリサイクル処理、グリーン購入の推進、冷暖房の温度調節など、日常的な環境負荷の削減にも留意しています。

また、環境保護等の社会貢献に積極的な企業向けに金利等を引下げた商品や、環境に配慮した住宅・アパート等を建設した方を対象として金利等を引下げた商品、投資信託販売商品への環境ファンド組入れなど、環境に配慮した金融商品を取り揃えております。

そのほか、ハイブリッド車等の環境にやさしい自動車を新規にご購入する方を対象にローン金利の引下げも行っています。当行においても低燃費の軽自動車やハイブリッド車の導入を進めるなど、環境対応車への切り替えを順次行っています。

当行では、地球温暖化防止への取組みの一環として、平成19年より「夏の軽装勤務（クールビズ）」を実施していますが、今夏は、東日本大震災の影響により大幅な電力不足が予想されたことから、全営業店の室内温度28℃の徹底や照明の間引き等、節電への取組みを徹底しております。

■社会福祉への貢献

◆「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、35年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっています。主な活動は以下のとおりです。

○宮城県への義援金贈呈

「小さな親切」運動本部では、東日本大震災からの被災地の一日も早い復興を願い、「君と私と、空の下プロジェクト」を立ち上げ、義援金と応援メッセージ入り花びらの募集を展開し、平成23年8月、集まった義援金を宮城県災害対策本部に贈呈いたしました。

○「クリーンキャンペーン」への参加

平成23年8月、仙台七夕まつり開催前に毎年行われている「クリーンキャンペーン」には、当行から約90名（会員企業合計約300名）が参加して仙台市内中心部を3コースに分かれて清掃し、社会的モラルの向上をPRしました。



○車椅子の寄贈

毎年、運動本部（東京）から車椅子の提供を受け、県内の社会福祉施設に寄贈しています。当行は事務局として、寄贈先の選定や贈呈式の運営を行っています。

○社会福祉施設等の慰問

毎年、県内の老人保健施設等を訪問し、唄や踊り、津軽三味線等演芸を披露するなど、施設の方々とともに和やかなひとときを過ごしています。

◆愛の募金会

「七十七愛の募金会」は当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝の意を表すため、平成6年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役職員により設立されました。平成23年度上半期は、被災地への義援金として、宮城県・福島県・岩手県の3県に対し総額230万円を贈呈いたしました。



◆七十七交通安全協力会

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しています。

同協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成23年度も贈呈いたしました。

◆企業献血による献血事業への協力

医療に必要な血液の安定的確保に寄与するため、宮城県赤十字血液センターの協力を受け、県内全店を対象とした企業献血を実施しております。平成23年度上半期は本店、泉センターの他、10カ所の営業店にて移動採血車による献血を実施し、約300名が参加いたしました。



◆がん検診受診率向上に向けた取組み

当行は宮城県と宮城県対がん協会および他民間企業と連携し、県民の皆さまのがん検診受診率向上に向けた取組みを協働で行うこととし「がん啓発及びがん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定」を締結しております。

また、仙台市とは「『いきいき市民健康プラン』に基づくがん啓発及びがん検診受診率向上のための取組の連携に関する協定」を締結しております。

今後はこれらの協定に基づき、がんおよびがんの予防に関する正しい知識の普及啓発やがん検診の重要性の啓発、がん検診の受診勧奨などを行ってまいります。



■地域との交流

◆七十七銀行金融資料館

七十七銀行金融資料館は当行の創業120周年を記念し、地域の皆さまの長年のご愛顧への感謝をこめ開設しました。お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済等をわかりやすく紹介しており、平成23年度上半期は約200名のお客さまにご来館いただきました。



■スポーツの振興

◆地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、サッカーJリーグ／ベガルタ仙台と、プロ野球パシフィックリーグ／東北楽天ゴールデンイーグルス、およびバスケットボールbjリーグ／仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして地元プロスポーツチームの活動を支援し、地域のスポーツ振興に貢献しています。また、総合口座通帳およびICキャッシュカードに上記3チームのキャラクターデザインを採用しており、より多くのお客さまに地元プロスポーツに親しんでいただいております。

平成23年8月27日には、ベガルタ仙台のサッカーJ1リーグ公式試合（モンテディオ山形戦）を「がんばろう！東北 七十七銀行マッチデー」として開催しました。当日は、東日本大震災により被災された方々を観戦にご招待したほか、宮城県内市町村等の物産展を開催しました。また、来場された皆さまに当行とベガルタ仙台が製作した「みちのくダービーオリジナルうちわ」を配付いたしました。



◆運動部の活動を通じたスポーツ振興

当行では、運動部の活動を通じて地域のスポーツ振興に取組み、地域貢献を図っています。硬式野球部、陸上競技部、バドミントン部は、都市対抗野球大会や日本陸上競技選手権大会、バドミントン日本リーグなど、全国レベルの大会等に出場しているほか、日々の活動において指導教室等を開催し、地域のスポーツ振興に寄与しています。

○企業スポーツとしての大会参加

当行運動部の主な戦績は以下のとおりです。

<硬式野球部>

- ・第82回都市対抗野球大会 出場

<陸上競技部>

- ・第59回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
男子やり投げ 優勝
女子400m 第4位、6位、7位入賞
女子400mリレー 第2位
女子1600mリレー 優勝
- ・第19回アジア陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第6位

<バドミントン部>

- ・全日本社会人バドミントン選手権大会
混合ダブルス 第3位



○小中高生に対する技術指導等(平成23年度上半期)

平成23年度上半期には、震災による被災地を中心に、以下のとおり運動部員による技術指導等を行いました。

<硬式野球部>

仙台市六郷・荒浜・連坊地区の小学生に野球教室を開催したほか、「家庭教師のトライ」、「スポーツニッポン新聞社」主催の野球教室に、プロ野球OBとともに当行野球部員が参加し、宮城県内の中学生約200名に技術指導を行いました。

<陸上競技部>

陸上指導法講習会に講師として参加したほか、2回の小学生陸上クリニックに参加し、400名以上の小学生に陸上の基本動作の指導を行いました。

<バドミントン部>

気仙沼市、多賀城市、岩沼市などで合計8回、技術指導を実施し、延べ500名以上の方々に参加いただきました。

■文化活動の後援

◆公演・展覧会への協賛

当行では、地域の文化振興に貢献するため、多くの文化活動等への協賛を行っています。平成23年度上半期は、「全東北ピアノコンクール」、「とっておきの音楽祭」等の文化活動への協賛を行いました。

◆「七十七ふれあいコンサート」の開催

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに迫力ある生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、仙台フィルハーモニー管弦楽団にご協力いただき、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。



平成23年度上半期は、音楽の力によって震災復興への勇気と希望を与える一助になればとの思いを込め、7月に通算43回目となるコンサートを宮城県岩沼市にて、地域の小学生約900名を招待して開催し、指揮者体験や楽器の解説等を交えながら生演奏を楽しんでいただきました。

◆東北学院大学提供講座

平成23年9月、地域経済の発展と人材育成に資する教育研究を通じて、地域への高い貢献をはかることを目的に、実践的な銀行業務をテーマとし「七十七銀行提供講座」を東北学院大学経営学部開設いたしました。



「七十七銀行提供講座」では、銀行業務の具体的内容や最近の金融動向および地域金融機関の役割等について、主に当行行員が講師となり、東北学院大学生向けに講義を行います。

提供講座の概要

講座名称：総合講座Ⅱ（七十七銀行提供講座）

期 間：平成23年9月～平成24年3月

講座概要：金融制度、預金・貸出業務、証券・保険業務、国際業務等の銀行実務に関する講義

発行：株式会社七十七銀行 総合企画部 広報・関連事業課
〒980-8777 仙台市青葉区中央三丁目3番20号
TEL 022-267-1111(代)

ホームページアドレス <http://www.77bank.co.jp/>